

# I. 学校概要

## 1. 校区の概要

校区のある尾上町は加古川市南西部に位置し、西部には加古川左岸河口部が、東部には別府川が流れる。南側は神戸製鋼所加古川製鉄所があり、東部には浜の宮公園がある。



昭和 30 年代までは農村地帯であったが、昭和 31 年 (1956 年) に「近江絹糸紡績会社加古川工場」が尾上町 (尾上飛行場跡) で操業開始。昭和 32 年 (1957 年) に国から「播磨工業地帯」として指定されたこともあり、第 1 次産業が大きく進出した。昭和 40 年代から海岸部が埋め立てられるようになり、昭和 43 年 (1968 年) には神戸製鋼所加古川厚板工場が操業開始。昭和 46 年 (1970 年) には神戸製鋼所加古川製鉄所第 1 高炉に

火入れが行われた。

このような大企業の進出に伴い多くの関連企業も操業を始め、これらの従業員や阪神間への通勤者の新興住宅が増大した。国道 250 号沿いにはロードサイド店舗が見られるほか田畑も散見され、様々な生活の態様が見られる地区となっている。

昭和 59 年 (1984 年) には生徒数が 1900 名を超え、昭和 60 年度 (1985 年) に別府中学校を分離。そのため校区は尾上町のみとなり、学校場所は別府町にあるが、校区は尾上町の東端に位置することとなった。

尾上町には昔から“地域の子どもは地域で育てる”という風土があり、学校教育への期待が高く、地域と学校が連携・協働して様々な活動が展開されている。中学校 1 校、小学校 3 校では、地域が育ててきた校風を大切にしながら、地域とともに伸び伸びとした教育に取り組んでいる。

## 2. 学校の沿革

昭和 22 年 4 月	学制改革に伴い、加古郡尾上村立尾上中学校を設立。校長に松本義一氏が就任
6 月	同じく加古郡別府町立別府中学校を設立し、校長に尾内清輝氏が就任
10 月	加古郡学校組合立浜の宮中学校設置の許可を受けて、別府町新野辺 574 番地の旧陸軍教育隊の建物の一部を改造して中学校校舎に充当し、初代校長 松本義一氏が就任し、従前の尾上中学校及び別府中学校をそれぞれ分校とする
11 月	尾上・別府両分校を統合し、現在の地に移転する
	開校式式典を挙
昭和 23 年 12 月	校章制定
昭和 24 年 4 月	第 2 代校長 荒川 勇氏 就任
昭和 25 年 6 月	尾上村加古川町合併のため、加古郡学校組合立浜の宮中学校を廃校、加古川市外 1 か町学校組合立浜の宮中学校を設置

8月	運動場を拡張
昭和26年4月	第3代校長 大西須三郎氏 就任
9月	加古郡別府町の加古川市合併に伴い学校組合立浜の宮中学校を廃校
10月	加古川市立浜の宮中学校を設置
昭和27年4月	第4代校長 中村 泰氏 就任
昭和31年4月	第5代校長 大辻幸司氏 就任
10月	女子の制服をセーラ服廻りひだスカートと制定
昭和33年12月	校舎改築第1期工事竣工（普通教室6，特別教室3）
昭和34年10月	毎日新聞主催学校新聞コンクール謄写版の部で第1位，文部大臣賞を受ける
11月	校舎改築第2期工事竣工（普通教室12，便所6，ポンプ室）
昭和36年5月	校舎改築第3期工事竣工（普通教室3，理科室・準備室，事務室，玄関ホール）
昭和37年4月	第6代校長 筒井悦次氏 就任
6月	校舎改築第4期工事竣工（校長室，職員室）
10月	毎日新聞主催学校新聞コンクール謄写版の部で第1位，文部大臣賞を受ける
昭和38年3月	校舎改築第5期工事竣工，育友会報「さざ波」創刊号発行
12月	体育館開き記念行事として，世界選手権保持者、日紡貝塚バレーボールチームを招き，公開練習及び紅白試合を行う
昭和39年4月	第7代校長 森 義男氏 就任
昭和41年9月	プール竣工，同記念行事
10月	校門，温室完成，主体的学習研究発表会
昭和42年4月	第8代校長 藪下十郎氏就任
11月	プール東側庭園整備
昭和45年4月	第9代校長 楠田健一氏 就任
6月	全校生徒日本万国博覧会見学
昭和47年6月	創立25周年式典挙行
10月	鉄筋3階建て特別教室竣工（LL，美術，音楽，視聴覚，会議室）
11月	保健体育の研究により，学校表彰を受ける 学校体育研究発表
昭和48年9月	運動場整地並びに排水工事完了
昭和50年1月	本館・体育館間の渡り廊下完成
4月	第10代校長 井上 諭氏 就任
昭和51年8月	南校舎完成（普通教室4，理科室，美術室，製図室，図書室等）
昭和52年9月	自転車置場増設（19㎡）
10月	尾上町同和教育協議会実践発表
昭和53年4月	第11代校長 田中重夫氏 就任
7月	体育館屋根張り替え
昭和54年9月	中校舎トイレ全面大改修（水洗化）
昭和55年4月	第12代校長 糟谷勝美氏 就任，プレハブ普通教室1増築
5月	全校生徒による菊づくり始まる
昭和56年4月	プレハブ普通教室2，第2職員室1，自転車置場32・増築
8月	中校舎3階木製窓枠をアルミサッシ窓に取り替え
昭和57年3月	柔剣道場完成，プレハブ普通教室6学級新設，自転車置場増設工事
8月	中校舎2階木製窓枠をアルミサッシ窓に取り替え
昭和58年4月	第13代校長 山口昭二氏 就任，文部省格技指導推進校指定
8月	中校舎1階木製窓枠をアルミサッシ窓に取り替え，下足室新設

11月	格技指導推進校研究発表会
昭和59年3月 4月	プレハブ普通教室2を新設 全校生徒が1900名を超す
昭和60年3月 4月 8月	プレハブ校舎取り除き（別府中新設分離のため） 別府中学校が浜の宮中学校から分離開校，伴い校区が尾上町のみとなる。 職員室，用務員室，印刷室改修及び渡り廊下新設
昭和61年4月	文部省学校保健統計調査実施校指定
昭和62年4月	第14代校長 伊藤 亨 氏 就任
昭和63年3月	校旗寄贈
平成元年3月	体育館前円庭改造，時計取替
平成2年4月	第15代校長 長谷川 稔 氏 就任
平成3年8月	管理棟木製窓枠をアルミサッシ窓に取り替え及び同棟外壁塗装
平成4年9月	パソコン室，多目的室設置
平成5年4月	第16代校長 宮永 達 氏 就任
平成6年3月	プール改修
平成7年11月	普通教室（10学級）に，スクリーン・暗幕を設置
平成8年3月 4月 6月 10月	体育館新築工事竣工 第17代校長 二木章夫 氏 就任，体育館竣工記念式典 「個を生かす教育」研究発表会 木工室改修
平成9年8月 9月 11月 12月	空調設備施設（職員室，校長室，事務室，応接室，用務員室，保健室） 中庭北側通路全面舗装 創立50周年記念式典 校則の見直し（男子頭髪の自由化）
平成10年1月 10月	創立50周年記念碑除幕式 東播地区社会科教育研究発表会開催
平成11年2月 3月	中庭通路アスファルト舗装 外灯設置 8月中館3階教室床張替 9月パソコン新機種に交換
平成12年3月 4月	正門前中庭掲示板設置 第18代校長 坪井 清 氏 就任
平成13年6月	木工室改築，隣接する別府西小学校新設に伴う運動場大規模改修
平成14年8月	北校舎，特別棟耐震補強工事，図書室，視聴覚室改修
平成15年8月	中校舎トイレ全面改修
平成16年4月 6月	第19代校長 岡 一真 氏 就任 学校評議員の配置
平成17年4月	校訓「以屈為伸」の制定 昼食サポート事業による配膳室設置
平成18年4月	第2音楽室改修
平成19年4月 4月 10月	第20代校長 末澤正行 氏 就任 本館，中館，南館の階段手すり設置 全日本吹奏楽コンクール銀賞受賞（3年連続出場）
平成20年11月	東播磨・北播磨道徳研究発表会
平成22年8月	中館全教室照明設備取付工事完了
平成23年4月 8月 11月	第21代校長 黒木文一 氏 就任 中館1,2階教室パネル改修工事・職員トイレ改修工事 管理棟屋上一部防水工事

平成 24 年 10 月	全日本吹奏楽コンクール金賞受賞
平成 25 年 5 月	第 22 代校長 富原恵美 氏 就任
平成 26 年 2 月	県民まちなみ緑化事業(中庭緑化整備) ※前期
6 月	県民まちなみ緑化事業(中庭緑化整備) ※後期
平成 28 年 12 月	南館全面改修工事完了
平成 29 年 8 月	パソコン新機種に交換
平成 30 年 2 月	体育館照明改修工事完了
4 月	第 23 代校長 長瀬弘之 氏 就任
平成 31 年 4 月	兵庫県学校安全(防災)推進校
令和元年 5 月	学校運営協議会発足
7 月	中館全教室背面ロッカー設置
令和 2 年 2 月	空調設備工事(エアコン)完了
12 月	“はまりん”誕生(マスコットキャラクター)
令和 3 年 3 月	給食配膳室整備工事完了
9 月	給食開始
令和 4 年 4 月	第 24 代校長 大山貴史 氏 就任
7 月	制服検討委員会設置
8 月	校内Wi-fi工事着工
10 月	中館屋上防水工事完了
12 月	技術教室床面・カーテン等改修
12 月	運動場バックネット改修
令和 5 年 2 月	本館トイレ洋式化工事完了
3 月	肢体不自由教室設置
3 月	校則見直し(頭髪、服装)
4 月	ガードマンボックス改修
6 月	新制服決定(令和 5 年 10 月より、校区内小学校で随時新制服展示開始)
令和 6 年 4 月	第 25 代校長 藤尾昌也 氏 就任
9 月	本館屋上防水工事完了
令和 7 年 6 月	中館トイレ改修工事
7 月	給水槽・貯水槽改修工事
7 月	特別教室空調設備工事